

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-------|-----------------------|---------|--------------|-----------|-------|
| 団体名 | 北見市役所 | 代表者名 | 北見市長 辻直孝 | | |
| 担当者部署 | 総務部 | 連絡先電話番号 | 0157-25-1113 | | |
| 担当者役職 | 主幹(課長職) | 担当者氏名 | 及川 慎太郎 | 連絡先E-mail | ***** |
| 住所 | 090-8501 北海道北見市大通西3丁目 | | | | |

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 佐藤 泰格 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | まずは自治体として業務改革を進めていくうえでの考え方をしっかりと説明したうえで、取り組み事例紹介においては「なぜ、何のために」という目的を説くことで大変説得力がありました。失敗話も交えて、同じ自治体職員から話を聴くということも、当事者職員にとっては大きな説得力、インパクトがあったものと考えます。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 今回をきっかけに当事者職員に「やればできる」のイメージが浮かんだことを期待し、研修の実施効果を高めるため、資料やアンケート結果の庁内共有も進めていきたい。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|---------------|---------------------------|--------------|---------|----------|
| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日(申請書より) | 支援内容(申請書より) | 期日・支援内容の変更あり | | |
| | 令和5年8月21日 | 講演(実地) | 無 | | |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) |
| | | | 13時00分 | 14時45分 | |
| | | | | 活動時間(分) | 105 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 北見市役所 5階会議室 | 最寄駅 | 北見駅 | |
| | 所在地 | 北海道北見市大通西3丁目1番地1 北見市役所本庁舎 | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | | |
|------|---------------------------|---|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 | https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/ |
|------|---------------------------|---|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|--|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 人数 |
| | 北見市職員(現地、配信) | 90人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) | |
| | DXの取り組み推進にあたっては、各課の現場において潜在的な課題を見つけることが第一歩となるが、まずは具体的にどのようなアプローチをすればよいかイメージがつかみにくいことが課題と考えている。 | |
| | 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) | |
| | 具体的な取組事例やコツ、考え方を学ぶことで、幅広い職員が業務改革の取り組み方にインスピレーションを受け、具体的な取組に至るきっかけを得たい。また、業務改革の取り組みを通じた人材育成にも活かしたい。また、DX推進部門においては、コーディネート力を学びたい。 | |
| | アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) | |
| | 職員研修という形式で、都城市の取り組み方、とくに考え方についてレクチャーを頂いた。事前に質問を募集し質疑応答も取り入れた。現地会場、総合支所などの配信会場合わせて100名弱の聴講があったほか、北見地域定住自立圏を構成し職員研修でも分科会をつくっている美幌町、津別町、訓子府町、置戸町にも配信した。(講師スライドは追って庁内に展開予定。) | |
| | 支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) | |
| | 今回は研修形式ということもあり、直接、具体的な取り組みに結びつくものではないが、アンケートの回答内容を踏まえると多くの気づきが生まれていたと捉えている。 | |

| | | |
|--|---|-------------------------|
| | | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください) | 多くの気づきをこれを具体的な取り組みに結びつけるよう、次のアプローチを考えていく必要がある。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート回答：「とても参考になる」「参考になる」が占めた。要旨：「同じ自治体職員から話を聴くことは説得力があった」「人口規模的に大きく変わらないが、ここまでやっているのはスゴイ。」「視点や取り組み方やアイデアがスゴイ」「ナッジ理論は活用してみたい」 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ③现阶段では課題・問題が残っているため未定 |
| 事業の最終的な目指す姿 | | |

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



